

地域福祉活動に関するアンケート調査結果

1 調査対象

民生児童委員および主任児童委員

2 調査期間

依頼日：令和4年8月5日（8月定例地区会長会および各地区民生児童委員会協議会にて依頼）

回答期限：令和4年8月31日

3 回収率

配布：75 回収：57 回収率 76.0%

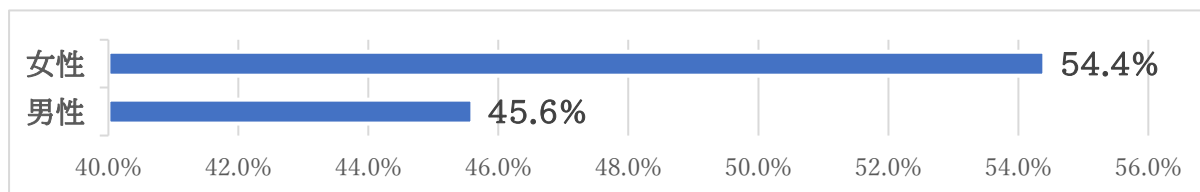
4 留意事項

（1）複数回答、無回答もあるため設問によって回答数が異なります。

（2）構成比は、小数点第2位以下は四捨五入しているため、合計が100.0%にならないことがあります。

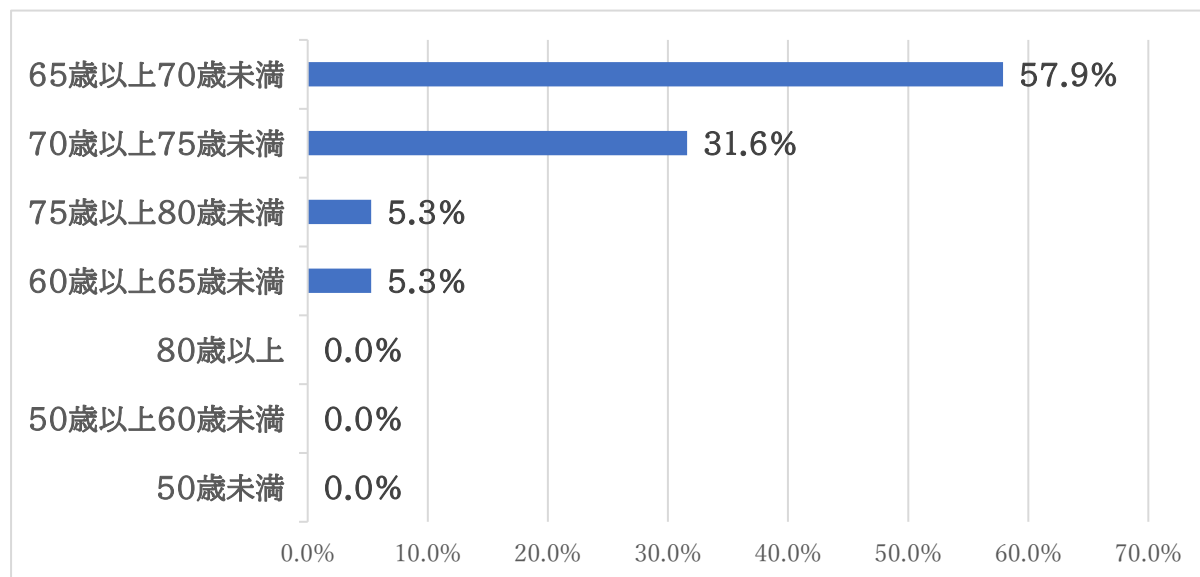
5 調査結果

問1 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）



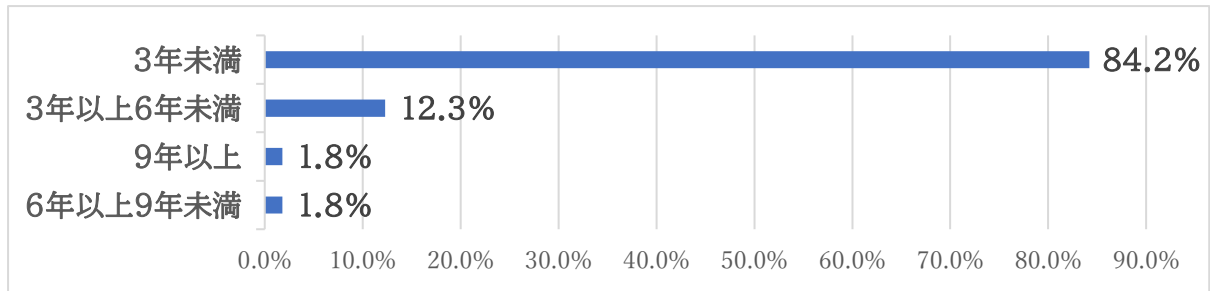
全体（N=57）

問2 年齢（令和4年4月1日現在）を教えてください。（○は1つ）



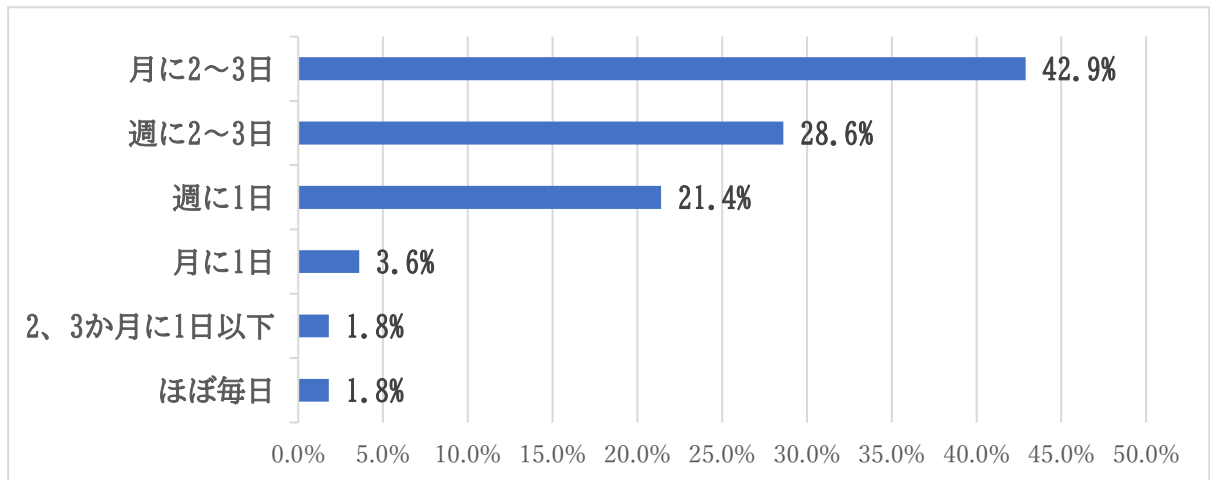
全体（N=57）

問 3 民生委員・児童委員としての活動年数を教えてください。(○は1つ)



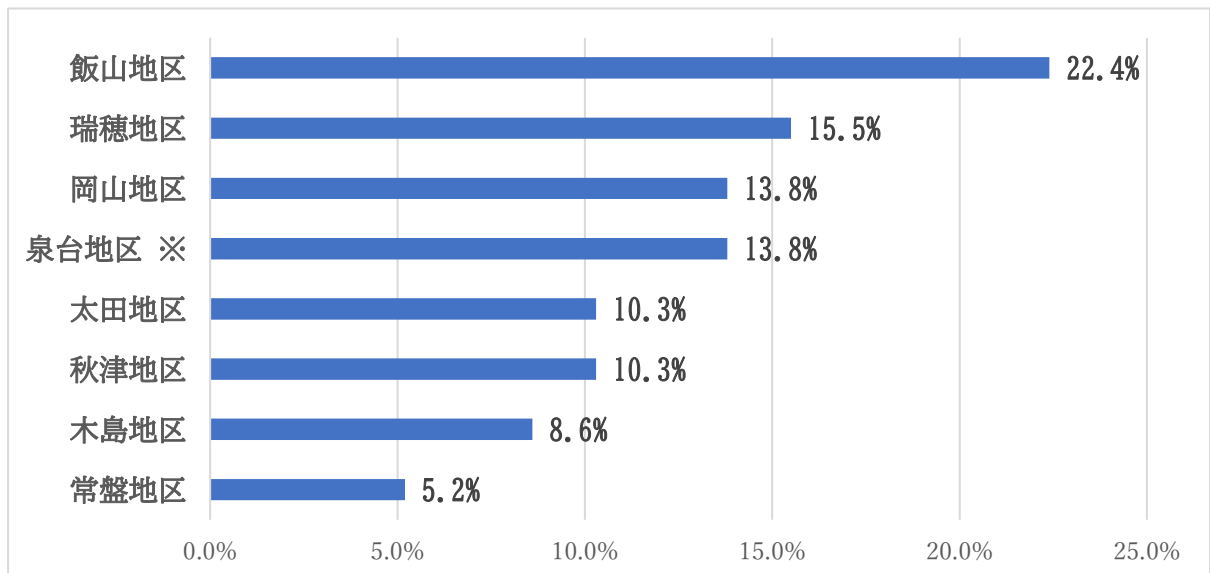
全体 (N=57)

問 4 民生委員・児童委員としての活動年数を教えてください。(○は1つ)



全体 (N=56)

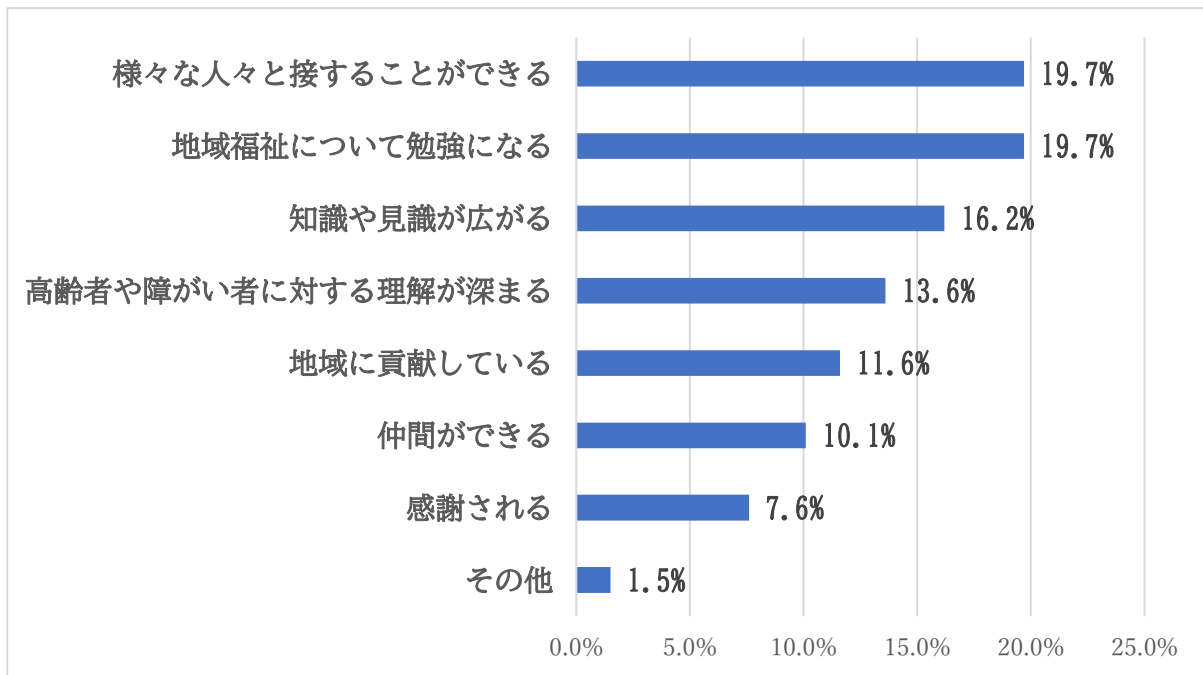
問 5 あなたが担当している地区はどちらですか。



※ 外様地区、柳原地区、富倉地区

全体 (N=58)

問 6 民生委員・児童委員の活動を通じて良かったことは何ですか。(〇はいくつでも可)



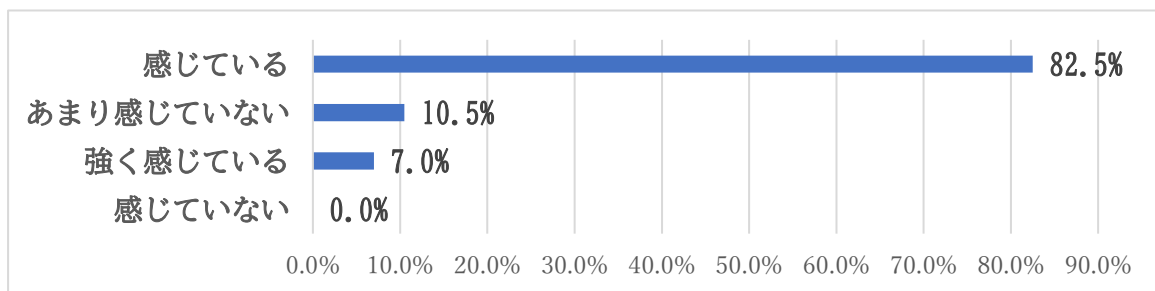
全体 (N=198)

その他 (記述)

- ・自身の社会性が広がった。
- ・地域の課題が見えてくる。
- ・訪問をすればその地区の色々なことが分かる。

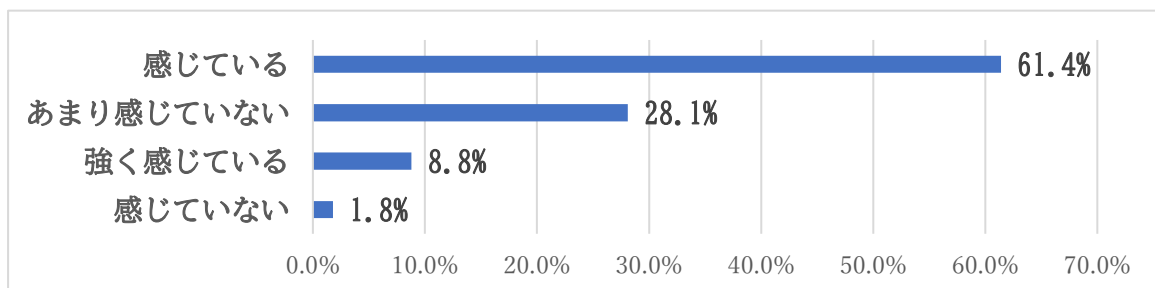
問 7 民生委員・児童委員の活動について、どのように感じていますか。

(1) やりがい (〇は1つ)



全体 (N=57)

(2) 負担感 (〇は1つ)



全体 (N=57)

(3) 負担を減らしていくにあたりご意見、ご要望がありましたら記入をお願いします。

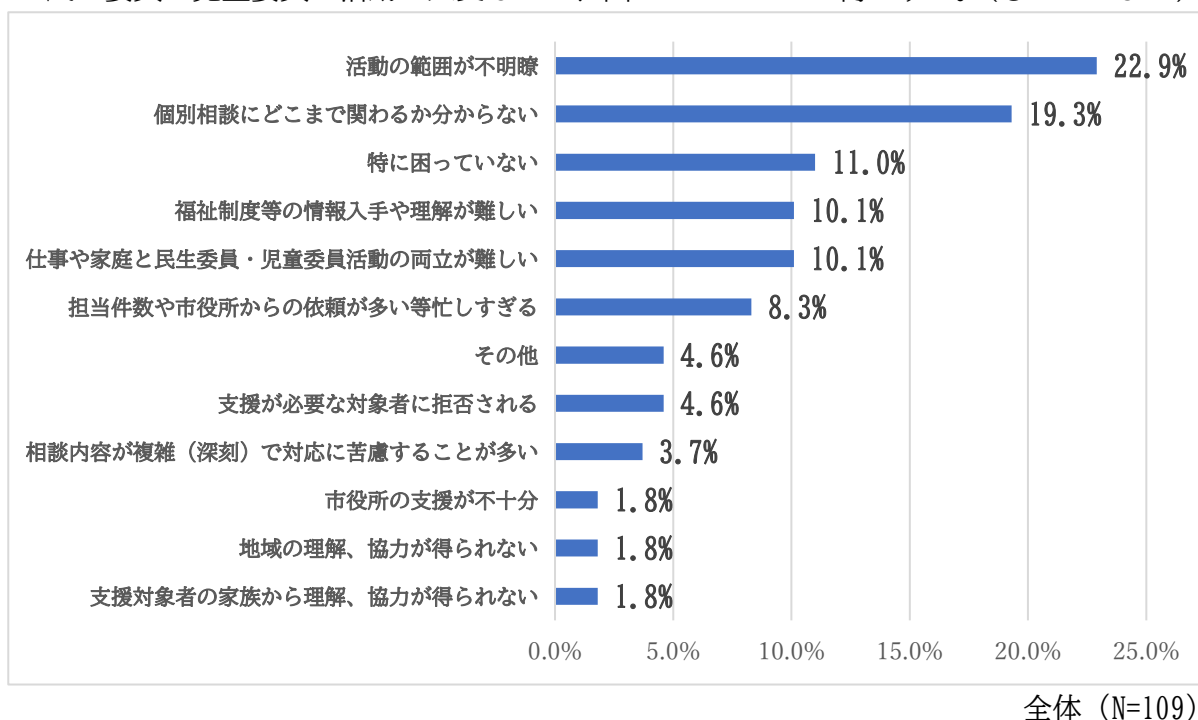
※ 記入いただいたご意見、ご要望を抜粋し、原文のまま掲載しています。

- ・一人当たりの負担を減らすため民生委員を増やして欲しい。
- ・もう少し市役所や社協で出来ることをやってもらうとありがたいです。
- ・「そういうもんだ!!」と自身に言い聞かせ対応することで負担感は減らせている。
- ・飯山市が中心に行い民生委員はその確認のみとしたい。内容によりますが。
- ・市からの情報に民生委員が確認する。例えば一人暮らしの情報が市からないのが不安になる。全部情報を出してもらい、漏れていないか確認する方が良い。
- ・今回はコロナ禍で活動が制限され見聞が閉ざされた。
- ・各行事への参加は少なくしていった方が良いと思う。コロナ禍で各種行事への参加がなくなり良かった(?) ような、悪かったような。でも予定通り行われていたら、結構負担に感じると思います。
- ・一人暮らし、高齢者世帯の名簿作成時、新しく該当者になる方の名簿を市から出していただけると助かります。
- ・自分の集落だけであればいいが、他集落もあるので特に冬場は廻るのが困難な時があります。
- ・コロナにて研修中止が多かったのも、しかたがないがもう少し地域との連携があると満足感が得られたかと思う。調査等のみだと負担を感じてしまう。
- ・資料の提出をお願いしてもなかなか出してもらえず、何回も電話したり訪ねて行く時があり、つつい面倒に感じる事があった。もう少し民生委員に対する配慮が欲しい。
- ・高齢者 65 歳を 70 歳以上にできないでしょうか。
- ・区長や隣組長の協力が民生委員の負担が軽減します。
- ・台帳の確認、調査や配り物など同時期にできるものはまとめて欲しいです。
- ・他の会議の参加要請が多い。充て職を減らして欲しい。
- ・子育て支援を担当していますが、地区により活動に数が異なり負担感を感じてしまう。
- ・苦勞するのは当たり前のことと思いついて取り組んでいる。
- ・任期 3 年で交代して多くの人が民生委員になってもらい、活動への理解を繋げていった方がいいと思う。
- ・市役所との連携（対等に質問等を個別にでも連絡を）。
- ・文書等理解しづらい（経験がないと分からない）、高齢者でも一読して理解できる文書、チラシ作りを願う。
- ・他集落の事は分からない。
- ・プライバシーとの兼ね合い。
- ・長野市方面の仕事をしているので、定例会などの会議はなるべく夜にやって欲しい。
- ・民生児童委員としては了承したのに、この役についてくる社会福祉協議会委員は了解していないのに付いてくる。この役を断れば負担は減る。
- ・役所と民生委員と個人情報もあるけれど、こちらが申し込んだことなど、どうなったのか連携してもらえば何回も訪問しなくても済むので、そういう連携も必要ではないか。頼まれた人に何回も催促されることがあるので、何回も訪問しなくてはならない。
- ・一人暮らし、高齢者世帯の年齢 65 才以上を 70 才とか 75 才以上にすれば負担が減ると思う。
- ・担当地区の区長さんや組長さんとの情報共有と連携で課題（特に災害時の対応について）に

ついて話し合える場があると良い。

- ・毎月、市の担当に提出している「活動のまとめ」は負担になっています。国でまとめ統計をとっているものと思いますが、ぜひ必要なものなのではないでしょうか。
- ・調査、推薦等が多く負担感があります。一度にならないよう平準になればと思う時があります。
- ・年ごとに高齢化が進んでいるので負担が減ることは考えられない。比較的若い人でも民生委員として活動できるような保障を考えて欲しい。
- ・任期を1～2にすること、3年は長すぎるのでは。
- ・今後、益々高齢化が予想されている。委員各々の負担増が心配です。

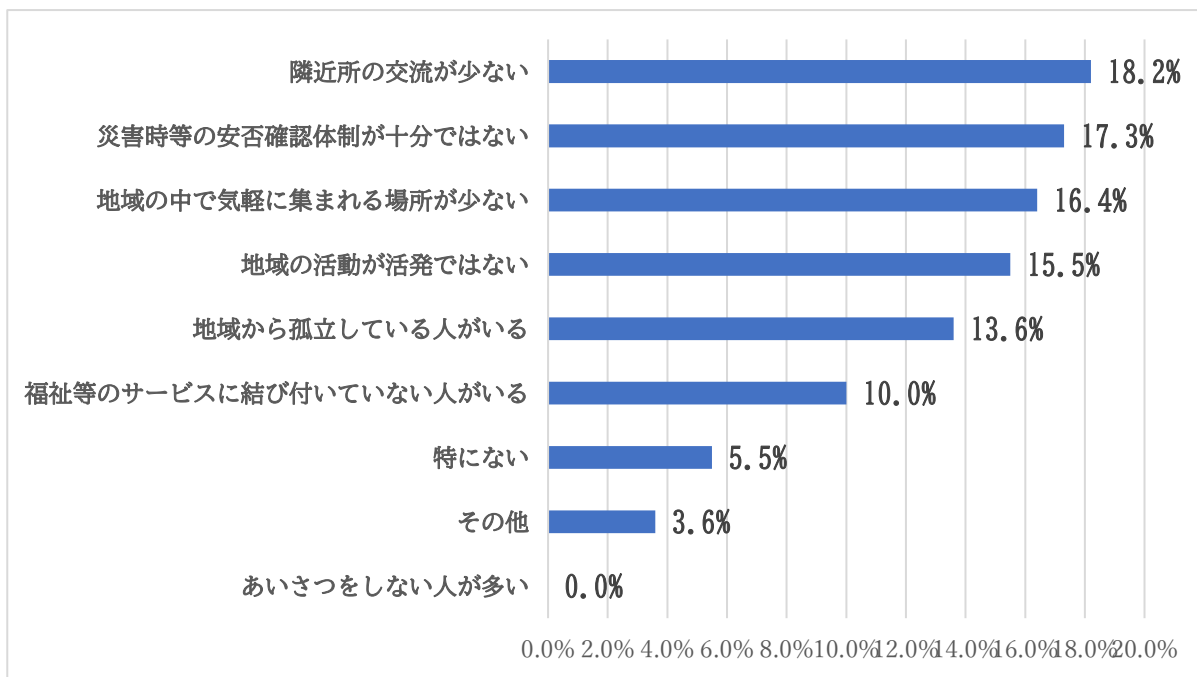
問8 民生委員・児童委員の活動で大変なこと、困っていることは何ですか。(○は3つまで)



その他(記述)

- ・書類での依頼が多いが、直接の担当者の説明が欲しい。
- ・相談があった場合、相談内容によってどこまで介入していいか分からない。
- ・人口は減っても対象者は増える。
- ・受け持ち範囲が広すぎる。
- ・認知症の人と会話が成り立たない。
- ・離れている子供のみになりがちになってしまう。
- ・民生委員は、何でもやってくれると思われているところが困る。

問 9 現在、担当されている地域の中で課題に感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

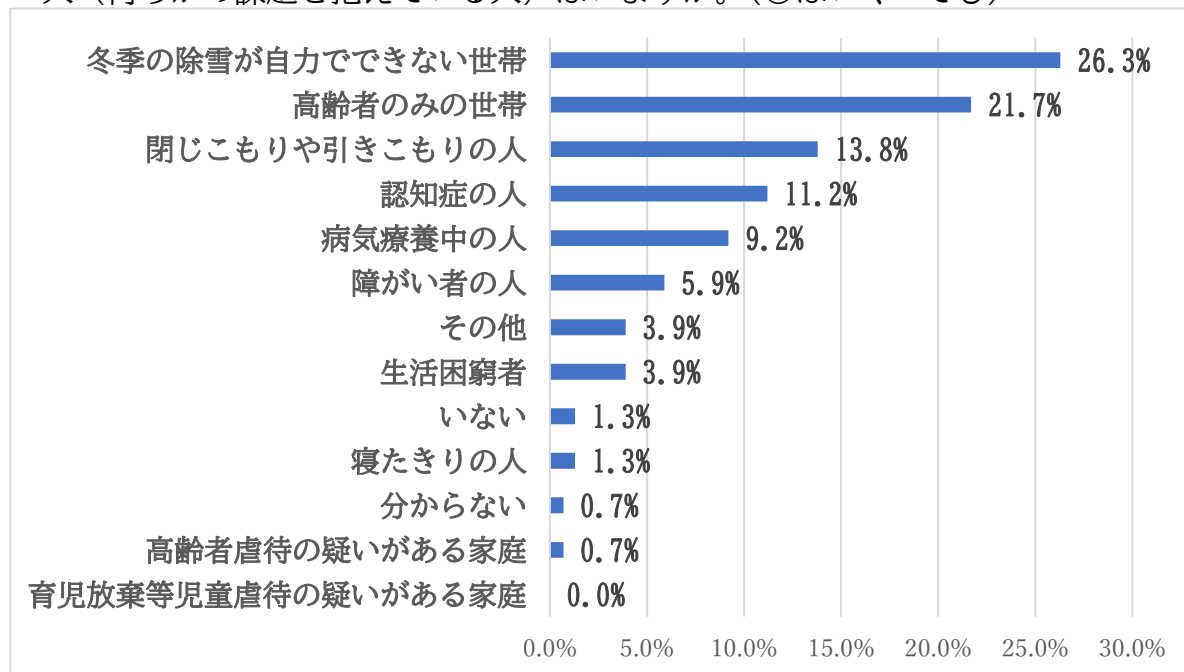


全体 (N=110)

その他 (記述)

- ・コロナで交流が少なかった事が課題だった。
- ・特にこの3年間はコロナで交流が少なくなっているような気がします。
- ・この三年間はコロナ禍の中にあり活動も制限された。
- ・高齢化で足腰が弱まり転倒するといけないとの意識で外へ出たがらない。
- ・耳が遠くなって玄関で声を掛けても聞こえない。

問 10 現在、担当されている地域の中で、以下のような見守り等が必要な人や気にかかる人 (何らかの課題を抱えている人) はいいますか。(〇はいくつでも)



全体 (N=152)

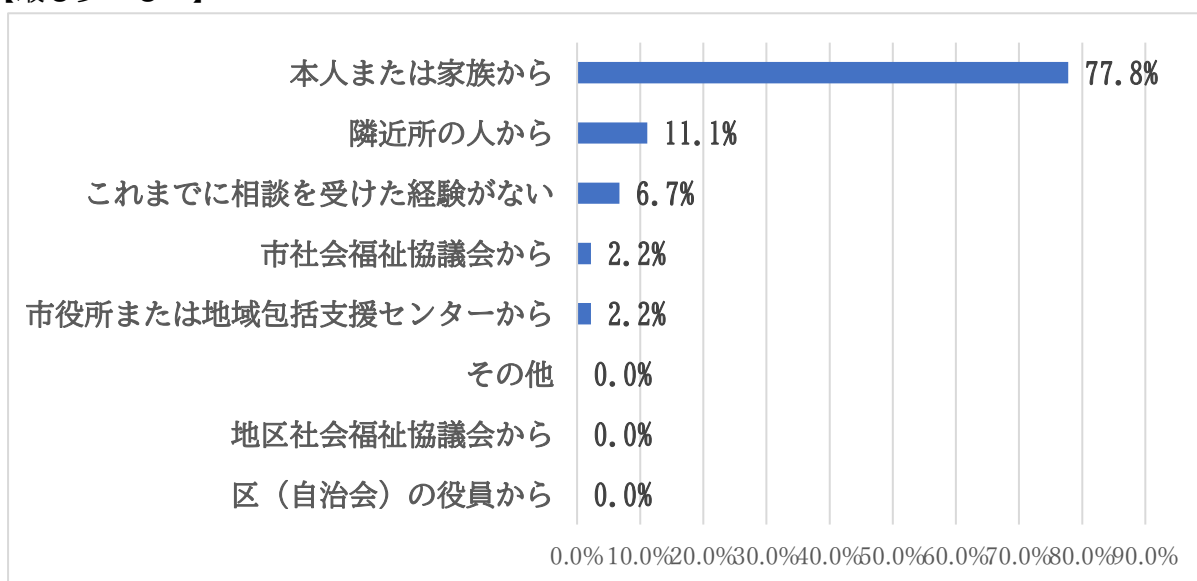
その他（記述）

- ・思い込み、想像力豊か（妄想傾向の強い方）への対応。
- ・高齢者のみの世帯で特に 100 歳を超える 1 人暮らし。
- ・3 人暮らしであり相談はされないが、家の様子を見ると老朽化し片付けなしで外は草だらけで気になっています。
- ・介護認定を受けている方のケアマネージャーからの情報提供。
- ・虐待まではいかないが悩みをかかえている家庭があると思われる。
- ・一人暮らしで持病を持っている人。

問 11 あなたは住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。

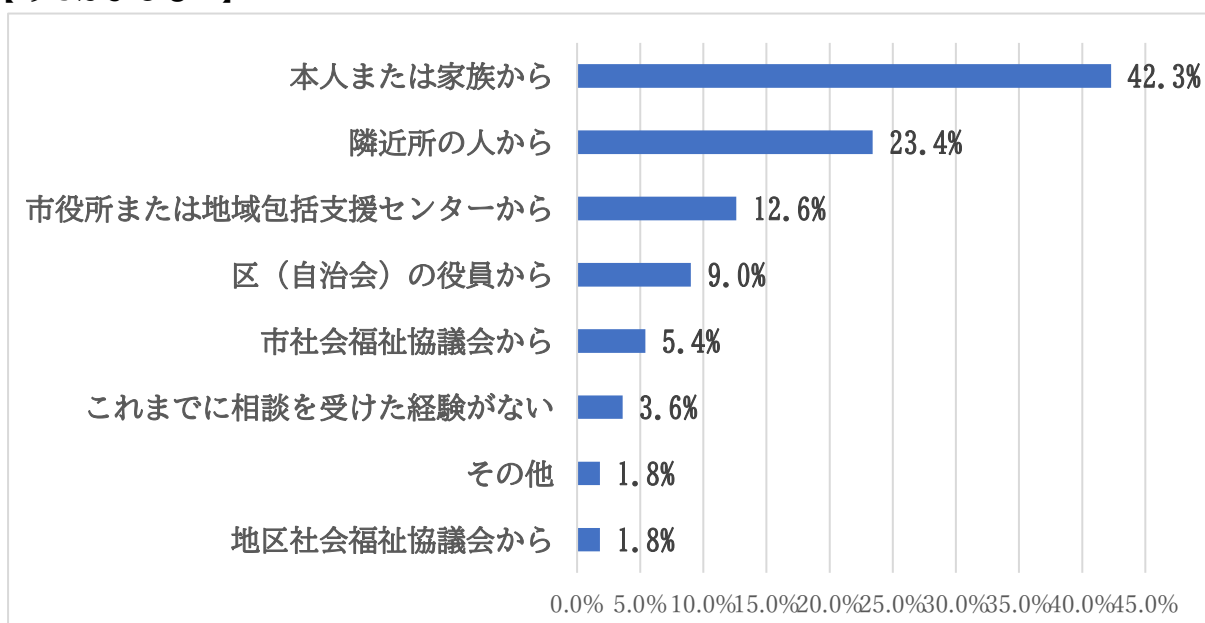
（最も多いもの 1 つに◎、あてはまるもの全てに○）

【最も多いもの】



全体（N=45）

【あてはまるもの】



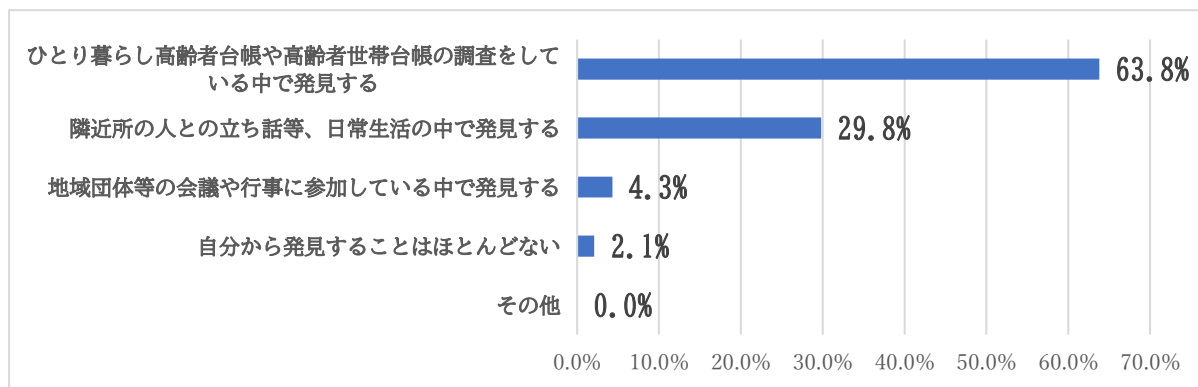
全体（N=111）

その他（記述）

- ・本人の友人から。
- ・親戚。

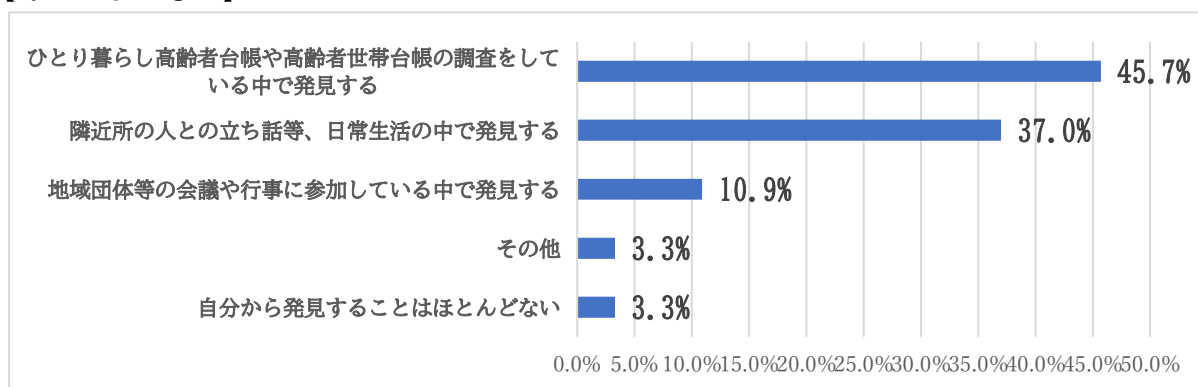
問12 あなたは民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。（最も多いもの1つに◎、あてはまるもの全てに○）

【最も多いもの】



全体（N=47）

【あてはまるもの】

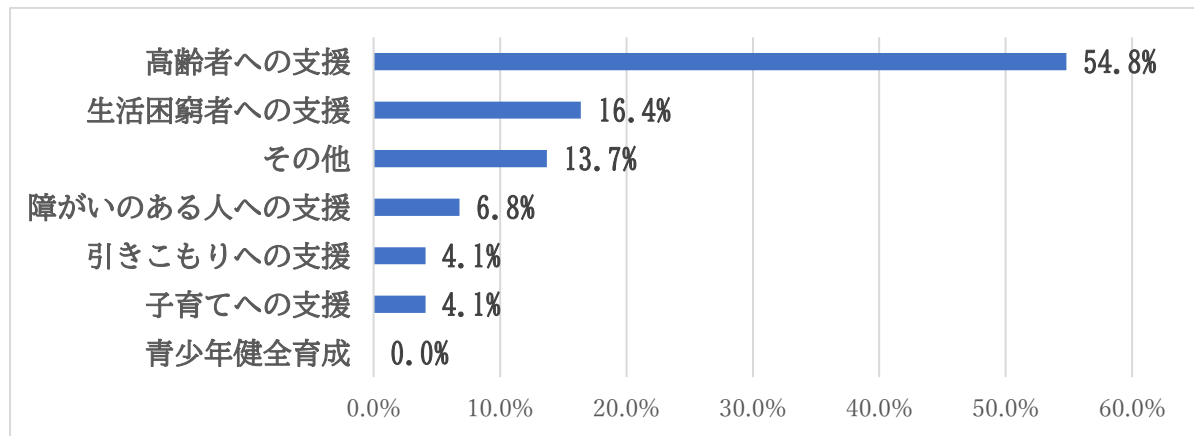


全体（N=92）

その他（記述）

- ・福祉台帳。
- ・見守り活動で情報を得ている。
- ・お困りごとは本人または家族からの相談がほとんどで、その延長線上で台帳等の調査時や隣近所の方への確認をするようにしています。

問 13 住民から相談されることで多いことは何ですか。(〇はいくつでも)

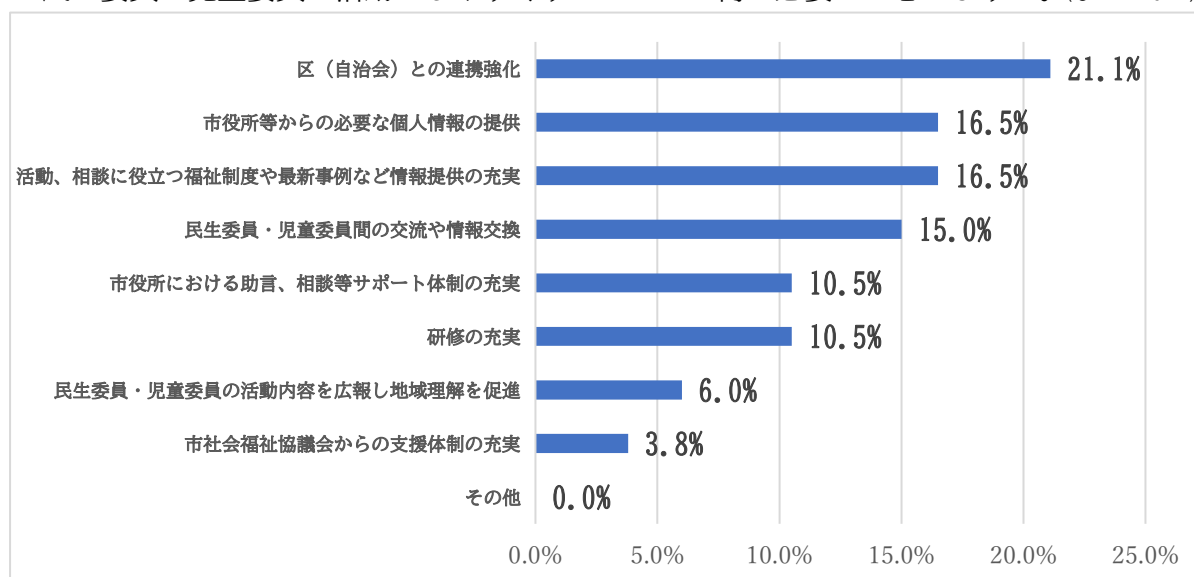


全体 (N=73)

その他 (記述)

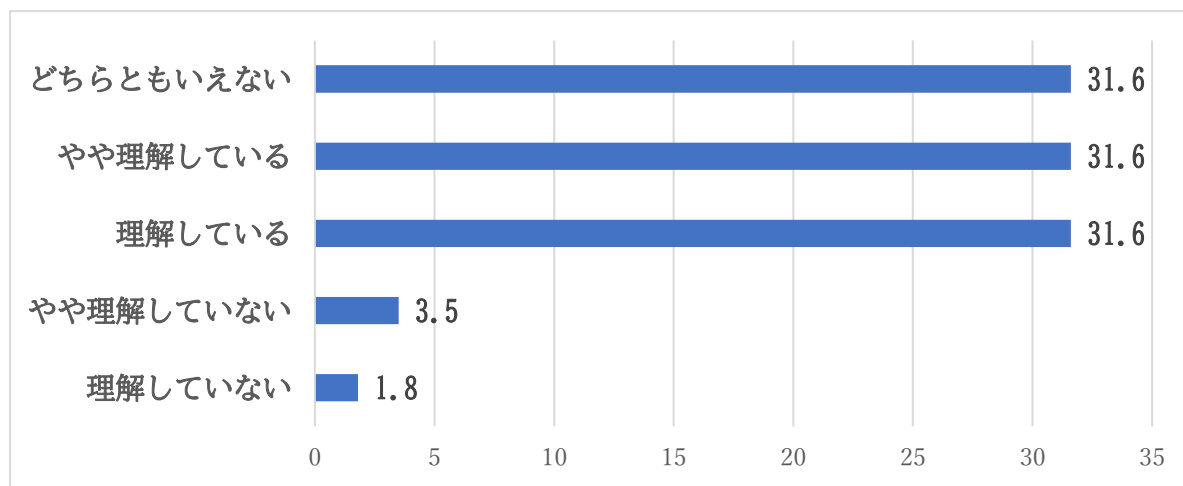
- ・ 隣近所のトラブル。
- ・ 離婚問題。
- ・ 除雪。
- ・ 隣人の雑草。
- ・ 今のところ相談されることはあまりない。
- ・ 除雪について。
- ・ 近所の方とのトラブル。
- ・ 相談というより、誰かと話をしたいのではと思われる電話を時々受けます。
- ・ 雪害。
- ・ ワクチン接種の申し込み。
- ・ 雪対応。
- ・ 冬の屋根の雪下ろしなど。
- ・ 除雪について。

問 14 民生委員・児童委員の活動をしやすいするためには何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



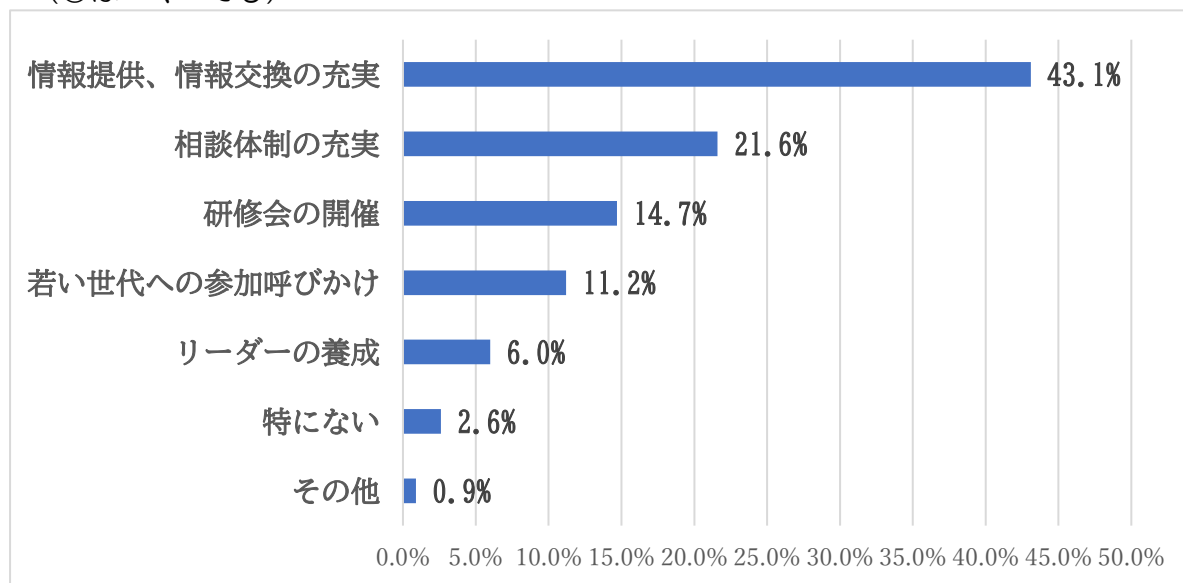
全体 (N=133)

問 15 あなたの地域の住民は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。
(○は1つ)



全体 (N=57)

問 16 地域福祉を推進、活性化していくうえで市役所に期待されることは何ですか。
(○はいくつでも)

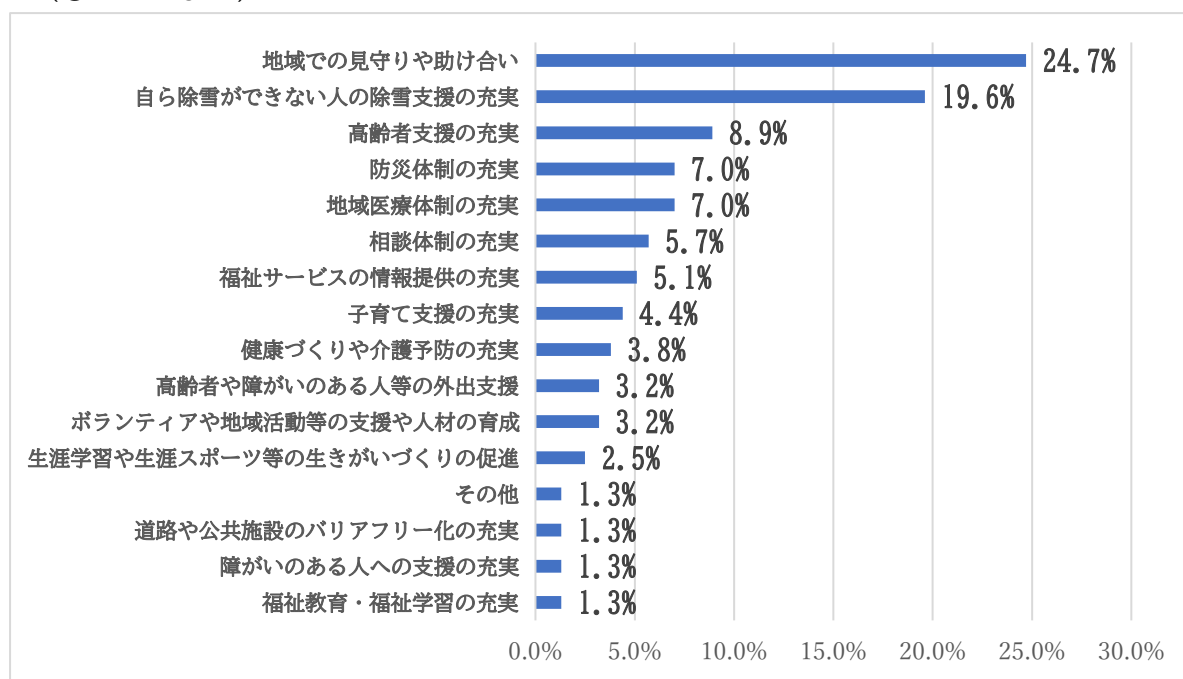


全体 (N=116)

その他 (記述)

- ・市役所担当者が地域に出向く（出前講座的な）必要なことをしっかり分かりやすく伝える努力をして欲しい。

問 17 あなたの地域で誰もが安心して暮らしていくために、必要なことは何だと思いますか。
(〇は3つまで)



全体 (N=158)

その他（記述）

- ・市や区の積極的姿勢…聞く姿勢の表し方。
- ・ひとり親への支援

問 18 誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けてご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

※ 記入いただいたご意見、ご要望を抜粋し、原文のまま掲載しています。

地域のつながりについて

- ・隣近所の付き合いをこまめにして、楽しい生活を送る。
- ・隣近所の協力、支えあい、民生児童委員との連携（区長、隣組長）の協力。
- ・民生委員の対応（仕事）も大切ですが、隣近所の関わり方や意識の持ち方が十分必要だと感じています。
- ・今、コロナで集うことは出来ませんが、皆会って話して笑っていたんだと思います。お悩みを抱えている方も、高齢者も小さなお子さん、障がいのある人、年齢関係なく誰でも集まれる場所があったらと思います。用事はないけどそこに行けば誰かいる。
- ・民生委員として関わっていると…、特に高齢者の相談の中で本来、子供（家族）に話したいが拒まれやむなく民生委員に…というケースが年々多くなっています。また、子の親（高齢）への対応の仕方を孫もよく見えています。難しことですが、各家庭のあり方一つでご近所から地域全体があったかく変わると思います。
- ・地域での人と人との繋がりが希薄になってきているように感じています。気軽に人と繋がれる場や活動が大切なのではと思います。人と繋がることで安心して生活ができ、お互いに助け合える体制づくりにも繋がるのではと思います。高齢者世帯が増えています。特に飯山での冬の暮らしは大変で不安でもあります。サポート体制が充実するよう、皆で考えていかなくてはと

思います。

- ・農村地域でも自助を強いられ、共助の気持ちが薄れてきている。区の役員や民生委員などは「近所のおせっかい」のつなぎ役をしていく必要性をせざるを得ないのではないか。
- ・民生委員、区長、隣組長の連携強化。

子育て支援について

- ・子供たちの通学路、学校等草丈があり、だいぶ伸びている。熊の出没もあるのでもう少し整備できるとよい。
- ・子育て支援に関わらせていただいていると、もっと細やかなソフト面の充実をお願いしたいと思います。

高齢者支援について

- ・一人暮らし、高齢者世帯の非課税のお宅に灯油代や今回の物価高の給付金で何うと、とても喜ばれてこちらも嬉しくなります。このようなことは、とても良いことなので皆が幸せになれるよう続けて欲しいです。
- ・新型コロナの影響により個人の繋がり、地域の繋がりが寸断されてしまい、特に一人暮らしの高齢者はより孤独を感じ痴呆症が進んだりその予備軍が増えていると思う。
- ・冬季、積雪があると高齢者は外へ出たがらない。四か月家の中にいると筋力、体力が弱体する。どうでしょう。冬期間、歩こう運動を進めたらどうか。時に高齢者は外に出て歩く。週に2回は公民館で柔軟体操を行うとしたら、春から十分に仕事ができるし、気持ちも充実、思考力もついてくるでしょう。高齢者が元気、地域も元気になる。
- ・区として高齢者支援に対し色々と検討し、対策を行ってもらっておりありがたい。

障がい者支援について

- ・歩行器や車椅子等が安心して通れるよう交差点や道路のつなぎ目など、でこぼこの無いよう安全確認が必要。車のためばかりでなく、人のためにも整備をして欲しい。
- ・障がいのあるお子さんや成人が家族の中にいる家庭が担当区に複数件あるが、福祉台帳で知る以外、近所のお宅であっても外（家の庭など）にいる姿を見かけることはほとんどない。それぞれのご家庭のお考えや暮らし方があるかと思われるが、コロナ禍で中止が続いている地区の行事が再開したら、障がいのある方々も参加できるような支援を考えていきたい。

除雪支援について

- ・玄関先除雪で除雪してくれる人がいなくなってくる。今後の除雪してくれる人の確保が難しいと思う。
- ・高齢化と言われているこの頃です。今まで雪下ろし、家の前やまわりの除排雪を頑張ってこられた方もいつまで自力でできるか気がかりです。除雪支援の充実と拡大を願います。
- ・第一の課題は冬期間の除雪。除雪支援員は全員 70 歳を超えており、数年後には支援活動が不可能になることが明白。おそらく今後の民生委員もこの事で悩むことが増えるはずです。民生委員レベルでは解決できなくなるので、人員の問題を行政の課題として考えていく時期だと思います。大きな大きな課題として全市的な研究をお願いしたい。

防犯・防災について

- ・昨年、各区長さんに防災、マップを作っていただきましたが、次年度へマップの引き継ぎがされているのか、確認がされているのか各区長さん、民生委員が年一回、同じ席で確認ができるといいと思いました。災害時に生かすためにも情報の共有は必要ではないかと思います。

生活環境について

- ・一人ひとりに向き合える環境を。
- ・問題となっている「ひきこもり」「不登校」「自殺」等、正面から取り組んでいる NPO 法人ばーむばいすは、現実と格闘している最前線だと思っている。ぜひ代表者も委員として意見を聞かせて欲しい。
- ・高齢者世帯、一人暮らし世帯が急速に増えていく中においては、福祉サービスは増々求められてくると思いますが、高齢者だけでなく子供や若い世代に目を向けて生活困窮者の支援や子育てに関わる福祉の充実等にシフトしていくことが次世代に向けて必要なことではないかと思っています。
- ・どんどん高齢化が進み、高齢者のみの家庭が増えていると感じます。若い世代は出て（他地域）行き、なかなか戻ってきません。若者に飯山に留まってもらえるような何か魅力が欲しいですね。地域の子供の数の少なさに驚きます。このままではこの地区はどうになってしまうのかと心配になります。アンケートの主旨とは違っていました…。

行政について

- ・地域の人が幸せに暮らしていけるのは、福祉の仕事を頑張ってやってくださる皆様がいるからこそです。これからは、それに対して福祉の仕事をする人が完全に不足することが目に見えて分かります。とても心配です。国や自治体は福祉の仕事をする人の待遇を良くしていくか、何らかの対策を今から考えていく必要があるように思います。
- ・個人情報をごとまで自分で受け入れ、どこまで市役所に報告するか迷う時がある。
- ・市役所等の支援体制。
- ・昨年のワクチン接種について
 - 高齢者ネットで申し込みができない（電話はつながらない）
 - 途方に暮れている人多数（代理で予約を取る 十数人）
 - 地域毎に地域巡回接種すべき（特定健診のように）
 - 接種場所に行くことが困難（高額なタクシー代を払うことにもなる）
- ・豪雪対応について（ふりかえりシートに記入済み）
 - 市の意見を聞きたい
- ・計画を作っても実働人員がいいるのでは無意味だと思います。人員の手当もしていただきたい。民生委員についてもなり手がいない。しかたなしに区長が引き受けるという実情を理解して欲しい。
- ・役所がもう少し支援に協力してくれればいいかな。
- ・民生委員に対する皆様の認知度が低いように思います。重要な活動をしているという事を知っていただきたいと思います。・現在、高齢者というのは 65 才からですが、今の時代現役で働い

ている方が大勢いらっしゃると思います。それで提案ですが、高齢者の位置付けを 70 才にしたらいかがでしょうか。一考をお願いします。

- ・民生委員の研修は長野等の会場で受講することはあっても、市独自の介護保険や高齢者福祉サービスへの理解を深める小単位な研修があったら、担当者に対象者をつなげやすいと思いました。
- ・市、社協などの主催行事について、コロナの状況は改善しない中で様々なイベントなど計画されていますが、コロナの感染が増えている状況では、危険ではないでしょうか。特に高齢者にはワクチンが接種されているとはいえ、「だから安心」との根拠はありません。社会活動と感染予防が両立するとは思えません。基礎疾患のある高齢者ばかりの地域では慎重すぎることはないのでは？

その他

- ・問 17 の全項目が必要だと思います。
- ・ただ話だけした場合とそうでない場合、自分で判断できない。
- ・限界地区（集落）で 80、85 歳になった時、委員になる人はいるのか。
- ・ウィズコロナの今、このケアが必要で喫緊の課題だと思う。
- ・コロナの終息を願います。